

農林水産部



農林水産物・食品の輸出の さらなる促進に向けて

我が国の高品質な農林水産物・食品の輸出を一層促進するため、全国の関係者が一体となった取組の推進を目的として、「農林水産物等輸出促進全国協議会」が設立されています。沖縄からも沖縄地域農林水産物等輸出促進協議会（事務局：沖縄総合事務局農林水産部農政課）が会員として参画しています。

平成21年6月29日に開催された全国協議会総会の内容をご紹介しますとともに、今後の沖縄における輸出促進の取組についてお知らせします。

農林水産物等輸出促進全国協議会総会の主な内容

「総合的な輸出戦略」の改訂

全国協議会では、農林水産物等の輸出額を平成25年までに1兆円規模にするという目標の実現に向け、会員が一体となり、「我が国農林水産物・食品の総合的な輸出戦略」に沿って、取組を推進しています。総会では、昨今の厳しい輸出環境にかんがみ、同戦略の改訂が了承されました。

改訂のポイント

- 既存の重点個別品目と重点国・地域に加え、新たに集中的に実施する品目・地域を設定しフロンティアを開拓
- 戦略的な広報を実施するとともに、現地商流ネットワークの構築により海外のさらなる需要開拓を図る

など

対象にアルコール飲料などを追加

また、この改訂の中で、これまで対象外だったアルコール飲料、たばこ及び真珠についても、輸出の目標金額に含められることになりました。特に日本食文化の重要な構成要素であるアルコール飲料については、他の食材と一体的なPRによる輸出の促進が期待されます。

世界が認める日本の食150

日本が誇る食材について、「豊かな食で世界の人々を幸せに」を標語に掲げ、海外への輸出の促進に取り組んでいきます。

その一環として、「世界が認める日本の食150」が策定されました。

●日本食10選：

日本食材の海外での認知度を更に高め、販路を拡大していくためのシンボルとして、代表的な10種類（ごはん、みそ汁、すし、さしみなど）を選定し、その素材や調味料、提供方法も含めて発信

●加工食品40選：

特に輸出取引が容易なものの中、海外の方々の味覚に合う商品をコンテストで選考し、参考事例として内外に紹介

- 栗国の塩・釜炊き（株）沖縄海塩研究所） など

●輸出取組事例100：

輸出に意欲的に取り組んでいる事例を紹介

- モズクを中国などへ（沖縄県漁業協同組合連合会等）
- 沖縄県野菜、果実を香港へ（株）沖縄県物産公社・南山元商店）
- 鶏卵をシンガポールへ（株）沖縄県物産公社・資源底養鶏場）
- 泡盛をアメリカ、香港等へ（瑞泉酒造（株）） など



日本食海外普及功労者表彰

海外に在住し、日本食、日本食材その他の日本産農林水産物の海外での紹介、普及などに貢献された方々に対し、農林水産大臣賞が授与されました。

今回、5名の方々が受賞されたところですが、その一人に沖縄県旧具志川市出身の当銘由盛さんが選ばれました。

当銘由盛さん

国・地域：アメリカ・カリフォルニア州

現職：日本食レストラン

「Sushi Ran（すしラン）」オーナー

北カリフォルニア日本食レストラン協会会長

功績：伝統的な日本食を熟知したシェフと西洋料理の知識

・技術に長けたシェフを両腕とし、日本食の基本・

伝統を大事にしつつ、米国人に愛される日本食レス

トランのスタイルを確立。また、北カリフォルニア

日本食レストラン協会会長として、積極的に日本食

文化の普及活動に努めている。



沖縄における今後の取組

輸出オリエンテーションの会の開催

（22年2月頃開催予定）

●輸出促進セミナー

輸出に関する有識者を講師に招き、体験談やノウハウ等の情報提供を行います。

●展示・商談会

輸出を希望する事業者に対し、国内外の商社・バイヤーと商談を行う場を提供します。

●輸出産品発掘会

バイヤー、在日外国人等による試食会を通じて、今後海外で売れる輸出産品を発掘する場を提供します。

【お問い合わせ】

沖縄総合事務局
農林水産部農政課

